

中国で自動運転を手掛ける Whale Dynamic、Kudan 3D-Lidar SLAM 統合の
自律走行向け商用化製品の提供開始、中国主要都市でのプロジェクトも受注

様々な機器に人工知覚／SLAM 技術を提供する Kudan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：項 大雨、以下 Kudan）は、Kudan のビジネスパートナーであり、中国で自動運転ソリューションを開発する Whale Dynamic Co.Ltd.（中国語表記：深圳市惠爾智能有限公司、本社：中国深セン、CEO：David Yufei Chang、以下 Whale Dynamic）が、Kudan 3D-Lidar SLAM 技術を統合した自律走行型配送車および関連する HD マップ作成用ツールセット製品の提供を開始しましたのでお知らせいたします。両社は、今回発表した製品を中国の主要都市で展開するプロジェクトで既に受注しており、今後、中国市場での更なる販売拡大及びグローバル市場への販売加速に向けて連携していく予定です。



自動運転に関する市場は、今後 10 年間で継続的に拡大すると予測されています。特に無人配送については、進行する都市化や社会の高齢化、E コマースの台頭、一部の国における配送員の不足などにより、社会的ニーズが急速に高まっています。しかし、主に交通状況が複雑な都市部の道路で運用する場合、市場で入手可能な自律走行型配送車／ロボットの完成度は満足のいくものではありません。

このような背景から、Kudan と Whale Dynamic は 2021 年から技術連携を行い、自律走行の市場をリードする製品の開発に尽力してきましたが、本日、Whale Dynamic は、Kudan の高性能な 3D-Lidar SLAM 技術を統合した以下の商用化製品の提供を開始しました。都市の公道などの変化に富んだ環境においても高い精度と堅牢性が証明された Kudan SLAM 技術は、正確な HD マップの作成と、運行中の配送車の正確な位置情報の把握を可能にします。

- HD マップ作成のためのマッピングハードウェアキットとソフトウェアツールセット（図 1 参照）：高密度な点群データを生成し、センチメートルレベルの精度でセマンティック HD マップを作成することが可能である。生成される HD マップは多種のフォーマットに対応しており、自動運転領域の様々なアプリケーションへと適用できる。

- 無人配送向けの多目的自律走行車 WD1 (Multi-Purpose Autonomous Vehicle : MPAV、図 2 参照) : 都市部の公道で完全な電気自動車として自律走行し、日常業務の遂行が可能である。洗練されたデザイン、きめ細やかな運用シナリオ設計と広範な路上テスト実績により、幅広いユースケースへと適用できる。

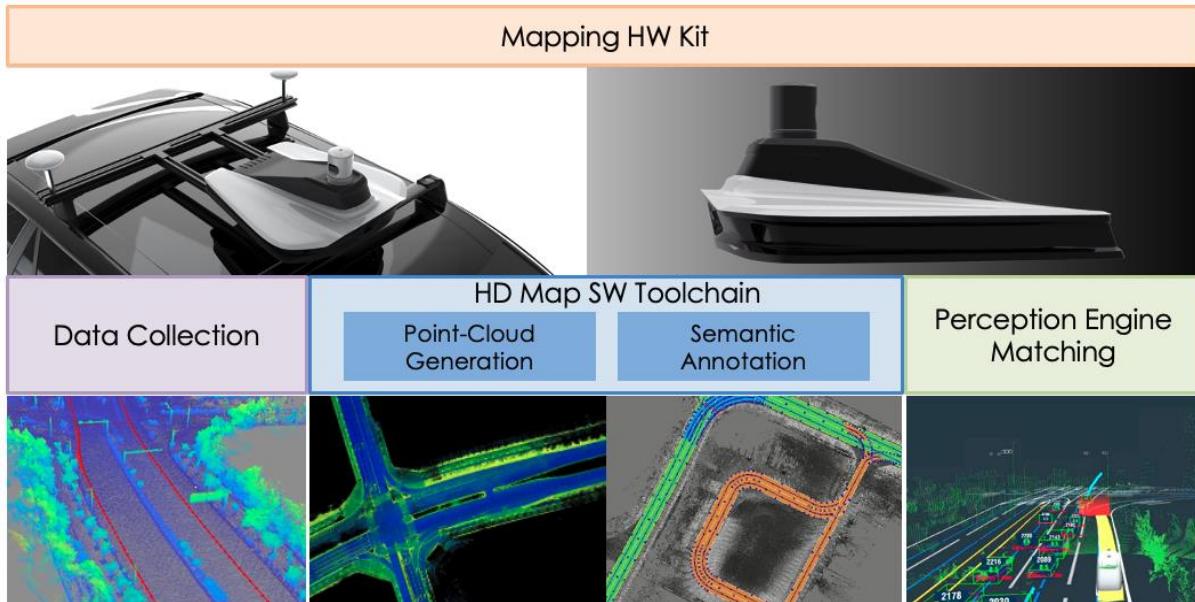


図 1 マッピング HW キット及び SW ツールセット



図 2 多目的自律走行車 - WD1

さらに、自律走行サービスの提供企業や学術機関の開発者及び研究者が自動運転技術を実証できるように開発され、カスタマイズの自由度が高い実証用車両 (Drivable Test Vehicle : DTV、図 3 参照) も提供いたします。こちらの車両はマニュアル運転と自律走行の並行操作に対応しており、短期間に実践的な自動運転検証作業をより手頃な費用で実施可能です。



図 3 Drivable Test Vehicle

これらの製品の詳細については、参考情報として以下からご確認いただけます（英語のみ）。

[Whale Dynamic Product Reference](#)

なお、Kudan と Whale Dynamic は、これらの製品の提供開始に併せて中国の主要都市で展開する自律走行プロジェクトを受注し、既に当案件は進行中のため、完了に向けて密に連携していく予定です。

両社は、中国、日本及びその他グローバル市場での事業展開・製品販売のパートナーとして、両社のネットワークと販売チャネルを活用しながら、今後もさらに連携を強化してまいります。これにより、自律走行や無人配送における膨大かつ多様な市場ニーズに応えながら、社会課題の解決を推進いたします。

Kudan 代表取締役 CEO 項大雨のコメント

Kudan の 3D-SLAM 技術を統合した Whale Dynamic による自律走行および関連マッピングツールの製品がリリースされたことを非常に嬉しく思います。両社の緊密なコラボレーションの成果であり、今後も、技術連携とグローバル市場での事業展開の両面において、パートナーシップの更なる強化・拡大を期待しています。

Whale Dynamic CEO 兼創業者 David Yufei Chang 氏のコメント

Kudan との緊密な連携は、グローバルな市場においてより競争力のある自動運転ソリューションを創り出すための壮大な可能性をもたらしてくれます。現在進行中のパートナーシップでは、自動運転市場において先進的技術を開発しており、今後の市場への大規模な展開にも期待が持てるものです。Kudan は我々の貴重なパートナーであり、両社の技術開発とグローバルでの事業拡大において、更なるコラボレーションを図っていきたいと考えています。

今後も、両社のコラボレーションや製品に関する新しいプロジェクトについても隨時お知らせいたします。

【Kudan株式会社について】

Kudan（東証上場コード: 4425）は機械（コンピュータやロボット）の「眼」に相当する人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とするDeep Tech（ディープテック）の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、機械の「脳」に相当する人工知能（AI）と対をなして相互補完するDeep Techとして、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudanは高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与えるDeep Techに特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しています。

詳細な情報は、Kudanのウェブサイト（<https://www.kudan.io/jp/>）をご参照ください。

■会社概要

会社名：Kudan株式会社
証券コード：4425
代表者：代表取締役 CEO 項 大雨

【Whale Dynamic Co.Ltd.について】

Whale Dynamicは、中国深センにある急成長中の自動運転技術企業で、自律走行とインテリジェント交通の適用領域に重点を置いています。同社は、マルチセンサー融合認識、空間・時間同期、車両組み込みシステム、高精度3次元マッピング、センチメートルレベルの位置認識など、車両自律化に関する多くの基本技術特許を保有しており、その技術は、多くの交通事業者、大手企業、大学などで広く利用されています。乗用車を自動走行するためにレトロフィットのみを行う多くの自動運転ソリューション企業とは異なり、Whale Dynamicは保有する乗用車レベルのフルスタック自動走行技術を自社開発の自律走行車に適用し、きめ細やかな運用シナリオ設計と広範な路上テスト実績により幅広い運用事例への適用を可能としています。

詳細な情報は、Whale Dynamicのウェブサイト（<http://www.whaledynamic.com>）をご参照ください。

■会社概要

会社名：Whale Dynamic Co.Ltd.（中国語表記：深圳市惠爾智能有限公司）
代表者：CEO 兼創業者 David Yufei Chang

■お問い合わせ先は[こちら](#)

